クラウドAIを用いた
応対サービスロボットの迅速開発

知能情報学部　教授　梅谷　智弘

研究の概要・特徴

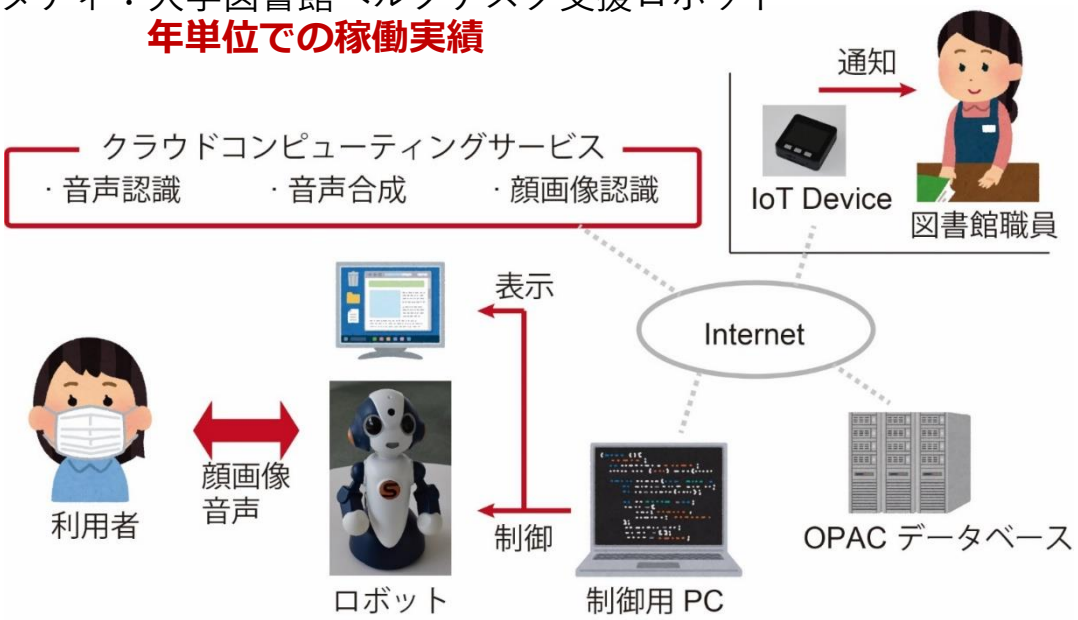
少子高齢化社会の進展：全人口に占める労働人口の減少
新型コロナウイルス感染拡大：新たな生活様式

▶ **ロボットによる**
サービス提供の拡大

専門スタッフを支援し，扱いやすい
ロボットサービスを提供できないか？

▶
- **音声対話サービスの実現**
- **長期の実証フィードバック**

ケーススタディ：大学図書館ヘルプデスク支援ロボット
年単位での稼働実績



新規性・優位性

短期間（数か月）でのプロトタイプ開発の実現：**認識システムの工数削減**

Web技術との連動：
個人情報を用いないサービス提供

利用者・専門スタッフが
なじみやすい遠隔応対を
ロボットで実現

実用化によって期待される効果

- **開発段階**
  ロボットを用いた実サービス，窓口支援システムの開発，実証実験中
  人ーロボットコミュニケーションの研究への応用

- **適応分野/用途**
  サービス業務などの自動応対技術
  クラウドAIを用いた迅速開発：
  - センシング技術を組み合わせた生産技術の知能化
  - 小規模実験システムの開発

【　論　文　】筒井ほか：“Webスクレイピングを用いた図書館ヘルプデスク支援ロボットシステムの迅速開発”，甲南大学紀要知能情報学編，vol. 16, no. 2, pp. 35 - 42, 2024.
【キーワード】コミュニケーションロボット，サービス，Webアプリ

教員の連絡先：umetani@konan-u.ac.jp